

2. 「県立学校改革推進プラン策定懇談会」協議状況

(1) 普通系専門学科・コース（英語科、国際科）について

【計画骨子（案）】

- 国際高校については、これまで進めてきた教育課程や学校行事等の工夫、地域行事への参加、留学生との交流等の成果を踏まえ、教育内容の一層の充実を図る。
- 既設の「英語科」「国際科」については、教育課程の工夫や地元小・中学校との連携、高大連携などを一層推進し、教育内容の充実を図るとともに、社会の変化や地域のニーズ、生徒の志願状況、既設校の実態等を踏まえ、必要に応じて学科の改編について検討する。
- 既設の「英語コース」については、教育内容の充実を図るとともに、既設校の実態や将来構想等を踏まえ、生徒の志望状況等を検証しながら、必要に応じて見直しについて検討する。

【主な意見】

- ・国際高校については非常に特色のある取組がなされている。
- ・国際高校については、国際人として、英語を学びつつ、日本のことを良く学び、世界で活躍できるような子どもたちを育てるといった目標に向かって充実させることで、英語科は発展的解消でよい。
- ・英語科では国際高校のような特色ある取組が見えにくい状況があり、志願倍率にしても厳しい状況である。
- ・すべての高等学校で英語教育を充実して、すべての高校生が国際社会で活躍できるような状況を作ることが必要である。
- ・なぜ成果が上がらないかという背景も含めて考えていくことが、これから学校の魅力をどう作るかということにつながる。
- ・進学のことを考えると英語科よりも普通科のほうがいいのではないかという考えが中学生にあるようだ。
- ・国際人であっても、日本の言葉で発信していくためには、まずは日本語の充実が必要。
- ・中学の英語を高校へ橋渡しをするためにも、高校でどんなことをやっているかという情報を中学のほうへきちんと伝えてほしい。
- ・英語はコミュニケーションツールの一つであると思うが、同時に異文化とふれ合う窓口ともなる。その場合、日本文化を学び発信していくことが国際人として必須だと考える。
- ・もう少しわかりやすい文章にしたほうがよい。
- ・英語教育の充実は、高校だけの話ではなく、小・中・高すべての教育現場を通じて行うことが必要。

(2) 普通系専門学科（理数科）について

【計画骨子（案）】

- 既設の「理数科」については、生徒や社会のニーズ及び生徒の実態、進学状況等を踏まえ、教育内容の充実を図る。
- また、大学や高等専門学校（高専）、研究機関、企業等との連携により、大学レベルの講義や産業界の先端技術に触れるなどの機会を設け、生徒の興味・関心を高める。
そのために、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）などを積極的に活用する。
- 生徒の志願状況や既設校の実態等を踏まえ、必要に応じて学科の新たな設置や学科の改編などについて検討する。

【主な意見】

- ・理数科を活性化させるためには、SSHの取組は最適ではないか。千葉県でもより多くの指定を受けて、その学校を核にして、地域で連携をして科学技術に興味ある子ども達をもっと育成していくことが必要ではないかと思う。
- ・理科系の学生を増やすということは日本にとって非常に大事なことだと思う。理数科の素晴らしさを出来るだけ中学生に対して広報していただいて、県としても、国としても、理科系の人を増やすということをやっていくべき。
- ・理数科は、県南部に設置されていないので、ぜひ設置を考えてもらいたい。
- ・現在、理数科が設置されていない郡部において、理数科に対するニーズがあるかどうかは分からないが、内房地区（例えば木更津高校）での設置についても考えてよいのではないかと思う。
- ・都市部のニーズのある理数科設置校で、学級数を増やすという方法もある。
- ・理数科は非常に重要だと思うが3つだけ提言させていただきたい。
 - ①定員割れでも良いから、まず質を確保する。
 - ②必要なところは増やし、具合の悪いところは廃止するなどの再編が必要。
 - ③（横浜のサイエンスフロンティア高校のような）持続的にやるという学校を、出来れば1校だけでも作ってみたいらどうか。
- ・理数教育では実験的な教育を行うために、普通科より少しお金がかかってしまう。先生の授業の負担なども大変である。これに対しての措置が出来るであろうか。
- ・理数科の本来の目的、原点に返って理数科がどうあるべきかを考えていく必要がある。
- ・現在の高校における物理や数学の授業に物足りなさを感じている生徒もいるはずである。もっと探究したいという子どもたちのために、理数科の充実を図り、生徒一人ひとりの特性を伸ばしてもらいたい。

(3) 職業系専門学科（農業）について

【計画骨子（案）】

- 地域のニーズや地域性を踏まえた学校配置、学科の検討を行う中で拠点校を設けネットワークを構築することにより、拠点校と他の農業科設置校それぞれの役割に応じた教育機能の集約と充実を図る。
- 拠点校においては、将来の農業スペシャリスト育成のため、新たな農業教育の手法について研究・開発を推進するとともに、その成果を他校へ還元し、県全体の農業教育の底上げを図る。
- 担い手育成や第2次・第3次産業との総合化といった農業施策と整合した教育の推進に留意しながら、他校・他学科をはじめ、小・中学校や農業大学校等の教育機関、行政機関及び地域の諸団体等との連携を推進し、教育内容の充実を図る。
- 農業と農業教育の理解を深めるため、わかりやすい学科名・学科再構成の検討に加え、各学校と一体となって、地域や小・中学校等との連携を軸に効果的なPR活動の展開を図る。

【主な意見】

- ・拠点校やネットワークを作るというアイデアは非常に良いのだが、イメージがわいてこない。これから農業高校を目指そうとする生徒や保護者に、いかにイメージとして浮かばせるかという構想づくりが必要である。
- ・ものを作るだけでなく「売る」・「開発をする」などという形での企業との連携などが、これからの農業高校の新しいテーマになってくるのではないか。
- ・農産物の「ブランド化」や「観光産業との連携」、さらに「地産地消の奨励」等が重要であり、そういう意味でも、1次産業に留まらず、2次・3次産業との総合化や様々な機関との連携が大切と考える。
- ・専門科目を結構教えているようだが、それよりも基礎的なものをもっと深く教えるべきである。進学を視野に入れた教育にするべきである。
- ・県の農政とマッチした農業教育ということも必要である。
- ・学科名が非常にわかりにくい。学科名がかなり複雑にあって、これは決して魅力になっていないという気がする。そういうことを検討していただけないか。
- ・「分かりやすい学科名、学科再編成の検討」というところがあるが、農業高校入学後、どういう農業をやっていくのかというターゲットを絞るべきである。
- ・PR活動については、中学校側も情報を収集する努力をしていかなければならない。
- ・千葉県は、全国で有数の農業生産県であり、農業生産高の高い千葉県の地域性というものをもっと発揮するための役割が、新たな後継者にあるべきである。千葉県の農業後継者を作ることが基本ではないか。
- ・農業高校で将来のことを検討しながら勉強が出来る高校を作っていくのか、千葉県の農業を継承してもらうための子ども達を育成するのかなど、どういったことを目的とするのか、もう少し深く掘り下げて考えた方が良いのではないか。

(4) 職業系専門学科（工業）について

【計画骨子（案）】

- ものづくりに携わる人材を育成し、新たな工業教育の手法について、研究・開発を推進するとともに、県全体の工業教育の底上げを図るため、工業教育の拠点校を設置する。
- 工業教育の質を高め、ものづくりの実践力を育成するため、企業・大学・研究機関・地域・行政機関等との連携を一層推進する組織の設置を検討する。
- 地域産業や産業振興施策との整合性を踏まえた、工業高校の配置や学科の構成等を検討し、工業教育の充実を図る。
- 将来にわたって、ものづくりを担う人材を育成していくために、積極的かつ効果的なPRを工夫し、工業教育の裾野の拡大に取り組む。

【主な意見】

- ・工業高校でのシステム作りを考える場合、企業、大学、研究機関、学校・教育委員会が一体となった連携の方策を具体化して、有効な教育方法を考えていくことは必要である。その主なものとして、コンソーシアムというのは有効な方法ではないか。
- ・「県の産業施策との整合性を踏まえた」とあるが、工業高校より一步先に進んだ、例えば県立の高専のようなものを検討するというのは、非常に意味があるのではないか。拠点校化はしなくてはいけない、ただし、もしやるのであれば、それは工業高校よりも先に進んだ形でやったらどうか。
- ・現代産業科学館には、専門性のある優秀な職員や、県内の有力企業や大学の科学・理数系の専門職がいる。ここにコーディネーター機能を持たせ、工業高校と連携することによって、特色のある工業教育ができるのではないか。
- ・県内に80近い工業団地がある。地域の振興策ということ、それから地域の視点ということを考えて場合、工業団地との連携というのも大事ではないか。
- ・効果的なPRが必要だという話があったが、工業高校は卒業生が自分のキャリアをデザインできるような、ターゲットが絞れるようにPRする必要がある。例えば、今の工業高校がターゲットするのが大企業なのか、中小企業なのか、大企業の場合即戦力が必要なのかなどが明確に決まらないから、卒業後の将来が描けないのではないか。
- ・「地域産業や産業振興施策との整合性を踏まえた、工業学校の配置や学科の構成等を検討し、工業教育の充実を図る」という部分については、施設・設備を新しくすることや、工業高校を今後設置していくことは、特に南部の方を考えたときには、難しいのではないか。

(5) 職業系専門学科（水産）について

【計画骨子（案）】

- 水産業及び海洋関連産業の発展を支える人材を育成するとともに、安定的な就業を支援するため、水産業・食品加工業をはじめ、観光や商業などの地元企業等や市町村との連携を強化するための仕組みを設ける。
- 大学・研究機関等や他の都道府県との連携を一層推進し、海洋環境研究等、地域や時代のニーズに合った新たな視点を取り入れ、大学等への進学も視野に入れた水産教育の推進を図る。
- 担い手育成や経営の多角化など、行政施策と整合した水産教育の推進に留意しながら、他校・他学科をはじめ、諸団体との連携を推進し、流通・販売等にも対応した幅広い教育内容の充実を図る。
- 地域や小・中学校等と連携し、積極的にキャリア教育を支援することをおして、水産科への理解を深めるとともに、効果的なPRに取り組む。
- 社会や地域のニーズ、設置校の実態等を踏まえ、学科等の在り方について検討する。

【主な意見】

- ・これから、これを進める上で大事なことは、生徒が水産教育に夢と魅力の持てるものにならないといけない。
- ・各地域との連携、大学・研究機関等との連携、他の学科との連携、他校との連携を進めていく中で、生徒が夢を持てるような内容にしていくことが大事である。
- ・千葉県の水産業を見た時に、特色的なものは東京湾漁業だと思う。身近な場所に職場があるわけだから、東京湾漁業にもう少し焦点をあてたらどうか。
- ・漁業協同組合との連携を、もっと密にしていく取り組みをしていただきたい。
- ・企業又は市町村との連携を強化するとあるが、どこが窓口になって連携を強化するのかというところを、きちんと定めないと前に進まないのではないかと。
- ・地域というのを県内全体と捉えるという考え方をさせていただいて、もっと多くPR活動をしていただきたい。
- ・実習船をもっと活用すべきである。普段の空いている時期に、遠くの人でも興味のある人たちを乗せて、海とか船を知ってもらい取り組みをしてはどうか。船には夢がある。海にロマンを求めるということから、実習船の活用が水産教育の大きなPRになる。
- ・出口の問題で水産高校を出て、どう大学とつなげていくのか。例えば、環境問題などを扱っていけば、色々な環境部門と接続していくので、出口としては良い分野ではないか。
- ・計画骨子案に、水産業・食品加工業の他に観光業や商業が含まれているので、それを中心に据えていった方が、充足率が上がってきてニーズに合うのではないかと。
- ・生徒も教師も減っている、そういう時に広く、薄くではなく、併設を含めて、一つにまとめるしかないと思う。
- ・寄宿舎があれば、子ども達も水産高校に行って学ぼうかという1つの選択肢がクローズアップされることも考えられる。

(6) 職業系専門学科・コース（福祉）について

【計画骨子（案）】

- 福祉教育に関する知識や技術などの研究を進め、福祉教育のレベルアップを図るため、福祉教育の拠点校を設置する。
拠点校と福祉コースや看護科を有する学校とのネットワークを構築することにより、学校間の連携を強化し、地域や県全体の福祉教育の充実を図る。
- 専門的な知識・技術をより深めるための学習を目指す生徒のために、大学や専門学校との連携を一層推進する。
- 福祉を目指す生徒が、福祉現場の現状を理解し、課題意識を持って学ぶとともに、福祉の職に就き、定着できるよう、行政機関・社会福祉協議会・社会福祉施設と連携する仕組みを設ける。
- 地域や時代のニーズを踏まえ、学科やコースの在り方について検討する。

【主な意見】

- ・福祉関連施設、特に高齢者施設が県内に増えてきている。若手の労働力を、地域の就職先確保や若手の地域への定着ということを考えた時に、県立高校に福祉コースを導入するということは、非常に意味があるのではないかと。
- ・地域の介護福祉関係施設に若い高校卒業生が就職して、地元で定着して働くことができれば、地元に対する大きな効果があるのではないかと。
- ・福祉コースの高校生が、地域との共存共栄ができるような学校づくりをしていただき、全国的に模範になるようなシステムを作り上げていくことを強く願っている。
- ・福祉教育の充実というのは、千葉県全体で積極的に進めていく必要があるのではないかと。
- ・計画骨子案の拠点校ということだが、拠点校が設置されることによってネットワークを十分活用した中で、平準化、底上げの取り組みをしていく必要があるのではないかと。
- ・若者が地域に根付くためには、職が必要なので、そういう意味では非常に良いと思っているが、福祉を小・中学校の総合的な学習やキャリア教育の中で扱うとどうしてもボランティア的な意味合いが多分に出てくる。
- ・時代を担う若者は、もっと他の分野で活躍してもらいたいという気持ちをいつも持っている。むしろ、中堅とか高齢者の人たちが介護現場に行った方がもっと物事はスムーズにいく気がする。介護現場のスーパーアドバイザーとかリーダーシップを発揮するような高度な職業教育に特化して、大学までに学ぶんだとすべきではないかと。
- ・今の介護の現場において、何が一番問題かといえば、重労働であるということもあるが、それ以上に賃金が安すぎるという問題がある。その部分は、計画骨子案にあるように、行政や社協、福祉施設等が連携したところで、何もできないのではないかと。
- ・福祉科に、卒業後さらに1年間福祉について学べる別科、又は専攻科を設けてはどうか。

(7) 総合学科について

【計画骨子（案）】

- 新たな総合学科の設置を進める。特に、普通科の転換による、進学を重視した総合学科について積極的に検討する。
- 既設の総合学科については、生徒・保護者及び地域のニーズ等を踏まえ、系列や選択科目の見直しなど、教育内容の一層の充実を図るとともに、必要に応じて学科の見直しについて検討する。
- 総合学科の仕組みや魅力を、中学校の生徒や保護者、教員に積極的に広報する。

【主な意見】

- ・「普通科の転換による、進学を重視した総合学科について積極的に検討する」としているが、すぐにでも実現を図るように強く要望する。1年次の「産業社会と人間」で、自分の生き方を考えて専門課程に進んでいくというのは大変意義がある。普通科の学校に速やかに総合学科の学校をつくっていただきたい。
- ・既存の総合学科については、問題点に対して、速やかに改善をして、次につなげていくべきである。
- ・普通科からの転換は、大賛成である。普通科の高校が総合学科に変わっていくことによって、中学校からすると選択の幅が広がっていくという感じがする。
- ・総合学科で多種多様な科目選択ができて、単位制ができて、色々な選択が可能になってくれば、その子ども達も、1年・2年・3年と夢をしっかりとつかみ、自分の方向性が分かってくるのではないかと。

[広報について]

- ・戦略的な教育行政が、今こそ求められる。教育庁直轄の広報体制をとって、広報のプロフェッショナルを育ててほしい。将来の教育行政に広報活動は、現場を支える大きな力である。



〔食と環境系列〕

〔海洋科学系列〕



(8) 全日制・単位制高校について

【計画骨子（案）】

- 生徒の多様なニーズへの弾力的な対応が可能なことから、多様な選択科目の拡大、キャリア教育・職業教育の充実、高大連携、企業との連携等を一層推進し、単位制高校の特性を活かした教育内容の充実を図る。
- 単位制の良さや特徴を、中学校の生徒や保護者、教職員に積極的に広報する。
- 単位制高校のメリットを踏まえ、進学指導重点校などへの新たな導入や、既導入校の見直し等について検討する。

【主な意見】

- ・自分で目標を考えて、それに合った科目を選んでいく、自分の興味にあった科目を自分で考えて選ぶという単位制のシステムは、人として生きていくための訓練の一つの場になるのではないかと考えている。そういう意味で、もっと適用範囲を拡げて、多くの学生がそういう場を経験できるようなことを次の視点として考えることが良いのではないかと。
- ・単位制、学年制高校それぞれの良さがあるので、各地区に設置できると良い。単位制高校は県南部にないので、ぜひ設置してほしい。
- ・趣旨から考えると職業高校の方がふさわしいような感じもする。
- ・単位制を利用するのであれば、学期ごとの単位認定や、秋入学・秋卒業が、果たしてどの程度出来ているのかということが重要なのではないかと。
- ・定時制や一部の全日制でも実施しているように、半期認定の科目を積極的に開講することで多様な教育課程を編成することができることなどは、単位制のメリットを生かすことになるのではないかと。
- ・退学する生徒を少なくするために、あるいは生徒が最後まで高校で学べるために、単位制をどう活かしたら良いのか、ということをお我々は考えていかなければいけない。
- ・単位制、進学指導重点校で成果があったら、他校でもその成果を活用できる仕組みを検討していくべきではないかと。

(9) 中高一貫教育校について

【計画骨子（案）】

《連携型中高一貫教育校》

- 既設の連携型中高一貫教育校について、生徒・保護者のニーズや地域・連携中学校の実態、連携型の趣旨等を踏まえ、教育課程や地域交流など教育内容の一層の充実を図る。

《併設型中高一貫教育校》《中等教育学校》

- 生徒・保護者及び社会のニーズ、配置バランス、地域の実情などを踏まえ、新たな設置について検討する。

【主な意見】

- ・計画骨子（案）の「(新たな設置について) 検討する」の部分を「推進する」に変えてもらいたい。リーダーシップをもった若者の育成が大切である。自分から判断して決断して実行するという強い力をもった子どもたちを育てたい。
- ・新しい教育スタイルにチャレンジしなければいけない。中高一貫教育校が連携型1校、併設型1校だけでは少なすぎる。
- ・千葉県のごくどこかに中等教育学校があっても良いのではないか。小石川高校では中学1年に入学した子どもが自分の興味がある教科内容について、高校生と一緒に学んでいるという姿が見られた。6年間の教育計画による学習は大きな効果が期待できると思う。
- ・今後は優れたリーダーとしての人材を育成していかなければならない。そのためにも中等教育学校をつくった方がよいのではないか。
- ・計画骨子（案）の「地域の実情」はしっかりおさえる必要がある。
- ・長狭地区では既に小中一貫教育が始まっており、さらに発展的に小中高一貫校はできないか。
- ・現在、中高一貫教育校は都市部に偏っているが、郡部でも取り組みたいという所があると思う。
- ・今後の10年間のことを考慮すると、計画骨子（案）に「連携型（の設置）も検討する」という含みをもつようにしたらどうか。
- ・関宿は地域的なものがあるが、それに似たような地域が千葉県内にはあると思うので、新たな連携型中高一貫教育校の設置について検討してもらいたい。
- ・義務教育では小・中連携が進んでいるが、小・中・高連携にしていこうという地域もある。中学校側としても地域の高校に進学させたい、地域で人材を育成していきたい、という思いがある。
- ・計画骨子（案）では「地域の実情を踏まえ」というごく単純な言葉で終わっているが、千葉県全体をターゲットにした取組という文言を加えてもらいたい。女子校にも中・高連携があってもよいのではないか。
- ・連携型の場合、勉強しない生徒がそのまま高校に進学できるとなると、高校卒業後は厳しいのではないか。
- ・高校受験がないのは、運動系部活動にはメリットになる。
- ・他県では、連携型を見直した学校もあり、交通の便や地域の実情を考えないといけない。
- ・併設型中高一貫教育校については、入学者選抜に当たり学力検査は行わずに公平に抽選による選抜をするようお願いしたい。

(10) 定時制高校について

【計画骨子（案）】

- 定時制高校は、生徒の多様なニーズに対応した学校であることから、地域バランスを考慮し、配置の適正化を図る。
- 既設の夜間定時制高校については、定通併修の一層の充実や、単位制の特性を活かした教育内容の充実などを図るとともに、生徒の志願状況や通学状況、地域の実態等を踏まえ、必要に応じて、設置学科を含め、その在り方について検討する。
- 多部制定時制高校は、生徒の多様なライフスタイルや興味・関心、能力・適性に対応した学校としてニーズが高いことから、地域バランス等を考慮し、郡部への設置についても検討する。
- 既設の三部制定時制高校については、生徒・保護者及び地域のニーズを踏まえ、生徒の多様な学習ニーズへの対応や教育相談体制の整備など、一層の充実を図る。

【主な意見】

- ・生徒が少ないから潰していくということではなく、多様な生徒に対応するために、生徒が少なくても地域のバランス・配置を考えて残していくべきである。
- ・どんなに希望が少ない地域でも、その定時制がなくなると高校卒業の道を閉ざしてしまうことになる。
- ・不登校の子ども達が高校を選択する場合、どうしても全日制には行けないという場合の選択の中に、定時制というのが非常に大きな位置づけとなって、役割を果たしている。
- ・学ぶことがしたかったにも関わらず、何らかの理由で学べなかった子たちが、定時制があったために学習意欲が増すということは珍しくない。
- ・一斉授業に耐えられなかった子ども達には、個別指導に近いものにしてあげないと、社会に出てコミュニケーションが取れないとか、益々勉強が嫌いになってしまう。こういう状況をつくらないために定時制高校があると認識している。
- ・三部制というのが、実際に生徒達が高校を卒業して、社会に出て行こうとした時の学びの質・量として本当に十分なのかというところが非常に不安である。
- ・三部制では、あまりにも時間的な余裕がなさ過ぎるので、二部制にしていきたい。
- ・1人1人を細かく見てやるということ自体は、決して悪いことではないと思うが、それをやっていくと、効率ということは犠牲になる。現実的なところから割り切るとすれば、あまりにも少ない充足率の所は、統合ということは考えざるを得ないのではないか。
- ・定時制高校の意義というのは一体何なのかを、もう一度明確にしないといけないのではないか。
- ・日本では、小学校から中学校、それから全日制高校に入り、浪人しないで大学に進学し、就活の時はもっと悲惨で、一回就活に失敗したら人生が全部ダメになるような、一本道が一番評価され、一番成果が出るようなスタイルである。人生はジグザグでいっても良い、という価値観を私たちは獲得しなければいけないのではないか。

(11) 県立高等学校の適正規模・適正配置について

【計画骨子（案）】

- 多くの友人・教師との触れあいやお互いの切磋琢磨の機会を確保し、教育課程の柔軟な編成や活力ある教育活動が展開できるよう、学校の規模・配置の適正化を進める。
- 多様な学校の中から、生徒が興味・関心、適性等に応じて学校が選べるように、各校の特色を更に深化させる。
- 1校当たりの適正規模を、原則都市部で1学年6～8学級、郡部で1学年4～8学級とし、適正規模に満たない学校は統合を前提とするが、学校・地域の状況等により統合しない場合もある。
- 統合など学校の適正な配置に当たっては、地域における学校の在り方などについて、地域関係者からも意見を聴きながら、検討を進める。

【主な意見】

- ・統合は時代の流れであり、やむを得ない。ただし、今までの統合をみると、専門高校の統合により専門色が薄まった事例もあり、経営面だけで判断すると生徒のためになるか疑問もある。
- ・現実に生徒の数が減少していることや、千葉県の財政事情から考えれば、学校数を減らすのは当然である。文言を変えても趣旨は変わらないので、このままでよい。
- ・固定した仲間とだけではなく、広くコミュニケーションをとれる方が、子どもが成長する上でプラスになる。
- ・統合の質（学校の魅力）が大事であり、ハード面、ソフト面、建物の魅力などいろいろな観点で打ち出すことが必要である。
- ・適正規模に満たない学校については、「統合の検討対象とする」と表現してはどうか。
- ・地域や学校、子どもたちのニーズを丁寧にきめ細かく勘案することが大切である旨の表現を加えてほしい。
- ・たくましさや誠実さ、自立心を養うことが、地域や千葉県を担う子どもを育てることになる。
- ・郡部は子どもの数が少なくなっており、1学級あたりの人数を40人に固定しないことも検討に値する。
- ・学校規模だけにとらわれることなく、指導力のある教師の有無や、部活動など高校が持つ魅力や学校を選ぶ指針を、中学生に示してほしい。
- ・高校が特色を出そうとしても、中学生や保護者に伝わってこない。高校が地元の小学校や中学校とどう連携していくかのシミュレーションができていないのではないか。
- ・学区間の生徒の流出入があるので、狭い視点だけで判断するのではなく、地域のあり方を総合的にみていく必要がある。
- ・多くの友人・教師と触れあうことだけを教育活動の目的とすることはすぐわない。少人数や小規模の教育から得られるものもある。
- ・統合ありきという表現は、地域の生徒は地域で育てるという考えを阻害する。
- ・同じ県立高校でも、立地条件などで有利不利があるにもかかわらず、一律の基準で考えていては格差を解消できない。
- ・私学経営の存立を配慮した適正規模・適正配置を検討していただきたい。

《トピック》魅力ある高等学校づくり大賞

1. 目的

学校自らが企画・提案する魅力ある高等学校づくりにおいて、他の学校にとって参考となり、優れた成果があったと認められる取組を実施している学校を表彰することにより、さらなる魅力ある高等学校づくりを推進する。

2. 内容

- (1) 魅力ある高等学校づくり大賞（教育長賞）・魅力ある高等学校づくり優秀賞は、学校独自の取組をまとめ、自由にエントリーできる。その中から、優れた成果があったと判断される数校に「優秀賞」を授与するとともに、最も優れていると判断される学校を「大賞（教育長賞）」受賞校として表彰する。
- (2) 「一校1キラッ！」学校概要部門優秀賞は、全県立高等学校を対象に、各学校が作成しホームページで配信している学校概要で審査し、優れていると判断する数校に「優秀賞」を授与する。

3. 表彰校（平成22年度）

(1) 魅力ある高等学校づくり大賞（教育長賞）

- 東葛飾高校：「志とチャレンジ精神」の高進を目指して

(2) 魅力ある高等学校づくり優秀賞

- 市川西高校：ESD（持続発展教育）実践に向けて
- 印旛明誠高校：伝統校から革新印旛明誠高校の挑戦
- 東金商業高校：夢をカタチに東商ブランド
- 安房拓心高校：総合学科の特長を生かし着実に進化する学校を目指します

(3) 「一校1キラッ！」学校概要部門優秀賞

- 生浜高校
- 船橋法典高校
- 一宮商業高校
- 天羽高校
- 木更津高校
- 上総高校



〔東金商業高校〕



〔「魅力ある高等学校づくり大賞」表彰式〕